年　　月　　日

 科学研究費助成事業　申請申出書

（応募及び採択後に研究職であり研究活動に実際に従事していること。非常勤講師は該当しない。）

研究者情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属・職 |  | 氏名 |  |
| 現職任期（年月日） |  |
| 学内プロジェクト参加有無　 | なし　・　あり（プロジェクト名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| メールアドレス |  |

応募予定課題

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 公募年度 | 　　　　　　　　　　　　 | 研究種目 |  |
| 役割 | 　代表者　・　分担者 | 研究期間 | 　　　　　　年　～　　　　年 |
| 研究期間中の所属・職位 |  |

受入条件

1. 受入責任者（本学専任教授・准教授・講師）をおく。
2. 所属部局での承認を得る。
3. 所属部署の事務担当者を届け出る。
4. 学内研究室を確保する。
5. 学内の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに関する研修会」（コンプライアンス研修会）を受講するとともに、誓約書を提出する。
6. 研究倫理教育に関する研修を受講する。
7. 特定類型該当性に関する申告書を提出する。

〇学内研究室（建物名・階数・研究室番号）

〇申請者の本学での具体的な研究方法（例：週3日、9：00～17：00まで学内研究室在室）

〇所属部署での受入方法（活動状況把握・連絡体制・検収・伝票処理など）

　　　（例：週1回、受入責任者と研究打合せを行います。検収は事務担当者が行います。伝票の入力は自ら行います。　受入責任者、事務担当者には電話番号・Eメールなどの連絡先を教えています。）

〇過去の科研費ほか競争的資金申請・採択状況（過去3年分）

　　（例：令和〇年度研究活動スタート支援採択）

※特定類型該当性に関する申告書もあわせてご提出ください。

※科研費採択後、申出書の内容確認のため、面談を実施いたします。

〇本学で科研費に係る研究を実施するにあたっての確認事項

（研究者）

１．本学が定めた規定・規則等、並びに本研究の資金供給元が定めた規定・規則等を遵守します。

２．コンプライアンス研修及び研究倫理教育を必ず受講し、特定類型該当性に関する申告書を必ず提出します。実施しないものがある場合は、研究継続の資格を失うことを承諾します。

３．研究に係るトラブル等が生じた場合、速やかに受入責任者及び所属部署を通じて大学に通知し、責任をもって対応します。

４．研究の実施にあたり、自らの故意または過失によって大学に損害を与えた場合、その責を負います。

５．大学が研究に関し調査・検査等の実施が必要と認めた場合は、速やかにこれに応じ協力します。

６．全研究期間における受入を保障するものではないことを承諾します。

７．研究の実施期間終了後においても、引き続き、確認事項に定める責を負うことを承諾します。

（受入責任者・所属部署）

１．受入責任者は、所属部署と調整のうえ、責任をもって、研究者の研究室を提供するとともに研究環境の確保を行います。

２．本受入に伴い研究に係るトラブル等が生じた場合、受入責任者及び所属部署は、状況に応じて研究者とともに連帯してその責を負います。

３．受入期間中において、受入責任者が専任教員の身分を有さなくなる等任務を果たせなくなった場合は、所属部署が責任をもって他の専任教員に変更します。

以上の全ての事項について、承諾します。

　　年　　　月　　　日

研究者　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

受入責任者（教授・准教授・講師）　所属・職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

事務担当者　　　　　　　　　　　　所属・職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※自署の場合は印不要

所属部署での承認　　　　　　　　　所属長職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学部長会議承認日　　　　年　　月　　日　）